

研究課題名	眠りスキャン活用の効果検証
研究機関名	武蔵野赤十字病院 看護部
研究責任者	所属 看護部 氏名 古澤恭子
研究期間	臨床研究倫理審査委員会承認日 ～ 2026 年 3 月
研究の意義・目的	<p>複雑で多くの疾患を抱える高齢患者が、専門的かつ高度な治療を予定通りに受け元の生活に戻るには、入院中にいかに急変やせん妄による転倒転落や留置ドレーンの自己抜去などの二次的障害を起こさないかが重要となる。</p> <p>そこで、予期せぬ体調変化への迅速な対応と睡眠障害に関連するせん妄予防ケアが課題と考え、「眠りSCAN」を活用することで二次的な障害を予防できることを検証する。</p>
研究の方法 (対象期間含む)	<p>研究の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武蔵野赤十字病院単独・質問紙（アンケート）を用いた横断研究 ・電子カルテから診療情報を収集、分析する後ろ向き観察研究 ・インシデント報告やRRS・ホットラインコールの発生率を分析する単独研究 <p>対象期間 データ抽出対象期間：2025年4月～2026年3月 研究期間：倫理審査承認日～2026年3月</p>
<p>①試料・情報の利用目的および利用方法</p> <p>②利用し、又は提供する試料・情報の項目</p> <p>③試料・情報の取得の方法</p> <p>④利用する者の範囲</p> <p>⑤試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称</p>	<p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般病棟看護職員とチームメンバー（せん妄予防、認知症ケア、緩和ケア、術後疼痛管理）を対象とした前後比較の意識調査 ・RRS出動件数とHOTライン出動件数 ・転倒転落・留置ドレーンの自己抜去に関するインシデント発生率 ・身体拘束最小化プロジェクトによる身体拘束実施率 ・RRS要請患者のフローチャートに沿った対応調査 ・せん妄リスクの高い予定入院患者の転棟転落やドレーン自己抜去の調査 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートによる調査 ・患者カルテからの収集 ・各チームからの報告データ <p>④看護部 古澤恭子 檜島喜美 医療DX推進室 柴崎浩直 総務課 多田喜明</p> <p>⑤武蔵野赤十字病院 看護部 古澤 恭子 武蔵野赤十字病院 院長 黒崎 雅之</p>
問合せ先	<p>当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問合わせ</p> <p>〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 看護部 氏名 古澤恭子</p> <p>TEL：0422-32-3111（代表）22600（事務局内線） FAX：0422-32-3525</p>